

第7回 夏季セミナー報告

「文の構成の学習」

一文を読んで文の意味がわかるようになるためにー

8月25日（土）に、第7回夏季セミナーを越谷市中央市民会館（埼玉県越谷市）で行いました。今回のテーマは「文の構成の学習」です。講師は宮城武久（つばき教育研究所理事長）です。

セミナーの冒頭に、講師より「文の構成の学習」の対象となる子どもや、学習の目的について、以下のように説明がありました。

「会話では二語文程度で話しているが、助詞をまだ使っていない子ども、やっとひらがなが読めるようになったが、文や文章をたどたどしく読んでいる子どもがいます。このような子どもが、文や文章を読んで意味がわかるようになるための方法です。本日は一緒にその学習方法を学んでいきましょう。」

セミナーは二人一組の演習形式ですすすめられました。最初に【文節で構成する】方法から行い、次に【単語と助詞で構成する】方法を行いました。そして、助詞1つを用いた文の構成から、助詞3つを用いた文の構成まで学びました。

セミナーの最後には、子どもに気持ちが伝わる一番の秘訣として、各自が持っている一番良い、表情・笑顔・声で子どもに向かい合って学習を行うこと、という講師の話がありました。

新学期から子どもに接していくうえで、改めて大事なことを学ぶことができました。

以下、参加された方の感想です。

これから、子どもたちの目をよく見て、呈示の基本を踏まえながら、学習を行っていきたいと思います。

今日学んだことを、今後の実践に活かしていきたいです。

特別支援学校教諭



演習形式だったので、実際に手本を見せていただけてとても勉強になりました。生徒役になったときにたくさんほめてもらってとても嬉しかったです。

また機会があれば参加したいです。

特別支援学級教諭